

令和8年度 札幌市立拓北小学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：22020

拓北小学校

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇札幌市の共通指標では、「振り返ったことを、次に生かそうとしている」「新しく学んだことを、他の学習や生活の場面で使おうとしている」の児童の割合が非常に高い。</p> <p>◇個別最適な学びの充実を行うために、端末活用や協働の場の工夫などを行ってきた。一人一人が主体的に人と関わり、考えを深めようとする力が伸びてきた。</p>
	<p>◇札幌市の共通指標では、「自分の意見を進んで発言しようとしている」「意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている」の結果が7割程となっている。</p> <p>◇「自分で計画を立てて、勉強している」と回答している割合が昨年より減少している。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇札幌市の共通指標では、「自分にはよいところがある」「人のよいところを見付けようとしている」「人の役に立ててうれしいと感じる」「人の役に立つ人間になりたいと思う」等の肯定的な回答の割合が非常に高い。今年度も、学校生活の様々な活動を通して児童が自己有用感を高めていけるよう取り組んでいきたい。	
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力	
<p>子どものよさを認め合い、自己肯定感や主体性を育む</p> <p>主体的な学習者を育てる～学び方の引き出しを増やす日常の授業改善～</p>	
取組	課題探究的な学習の推進 に向けて
	<p>◇主体的に学びに向かう子どもの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「イントロダクション」の充実→子どもが学習の見通しをもち、意欲的に学び続けるように目指していく ・「リフレクション」の習慣化→学び方の変容に気付く力を育てていく
	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>◇子どもが主体的に考える活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プラスのまほうに基づく自治的な活動の実施」→委員会、クラブ活動等で子どもたちの主体性を尊重し、具現化する ・「異学年交流の充実」→ふれあい活動等で他者を意識した活動を全校で取り組む
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について	
◇各教科において端末を活用する技能を身に付けていく。そのためには、昨年度作成した「総合的な学習の時間」の計画を参考にしながら、今年度の取組みも記録化し、端末を生かした学びの充実を図っていきたい。ネットモラルの指導も各学年で行っていく。	

<本プログラムの実行に向けて>

<p>新年度</p> <p>◇本プログラムの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議 ・パートナー校間研修 ・ホームページからの発信 	<p>〔一人一人の教職員〕</p> <p>◇日常の授業実践</p> <p>◇各自の研修</p> <p>◇校内研修</p> <p>◇研究部提案実践発表における交流</p>	<p>〔学校全体〕</p> <p>◇校内研究の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校研、部内研、実践発表 <p>◇子どもの育ちを共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年研修等 	<p>次年度△</p> <p>◇学校評価</p> <p>◇次年度に向けた課題を共有した研究全体会</p>
---	--	--	---